

子ども料理プロジェクト

1月26日

子どもたちに料理作りの楽しさを知ってもらい、宇陀の食材などを通して調理体験してもらおうと榛原地区まち協主催による講座が行われました。

今年度は昨年9月に1回目スタートしてから、今回が4回目の講座。子ども32人とボランティアスタッフを含め約50人の方が参加しました。

それぞれ4つのグループに分かれ、自分たちで考えた8つの料理（ミートパスタ、スパニッシュオムレツ、ピザ、野菜スープ、ポテトサラダ、他）を手分けして調理。料理講座への参加回数が増えるにつれて、子どもたちの包丁さばきや調理手順が上手になり、たくさんの料理ができました。どれも美味しく、みんなおかわりをしながら楽しく食べました。



市民スポーツ大会開催

1月27日

毎年恒例、市体育協会綱引連盟主催の「新春綱引大会」が総合体育館で開催され、7チームが参加しました。

この大会は、誰もが気軽にできる綱引きを通して、健康づくりの機会を増やすとともに、参加者同士が親睦を深められるような交流の場づくりを目的として開催しています。結果は次のとおりです。

【一般の部】 優勝 宇陀サイクルレーシングアダルト
2位 ミサキ綱引きクラブ
3位 市立病院クラブ

【小学生の部】 優勝 宇陀サイクルレーシングA
2位 宇陀サイクルレーシングB



かぎろひ短歌入賞作品展

宇陀市記紀万葉プロジェクト特別展示
「柿本人麻呂と宇陀」

1月19日～2月17日

身の丈以上もある、柿本人麻呂の万葉歌碑のレプリカが目を引くこの展示会は、昨年宇陀市観光協会が募集したかぎろひ短歌の中から選ばれた優秀作品と、「かぎろひ」の歌を詠んだ柿本人麻呂にちなんで、大宇陀にある万葉歌碑や古代史の舞台となった宇陀の歴史について紹介したものです。

約3mの木板にしたためられた入選短歌を目の前にすると、一文字一文字が「かぎろひ」や「大宇陀」の情景を纏って訴えかけてくるような迫力があり、ご覧になった方もため息をついていました。

また、普段は中央公民館のホールに掲げられている、中山正實画伯が描かれた壁画『阿騎野の朝』のタペストリからも、軽皇子がかつて遊猟に来た際の息遣いが感じられ、さながら古代にタイムスリップしたような展示会となりました。





薬膳・漢方検定公式テキスト
 ～日本漢方養生学協会認定～
 監修：薬日本堂
 出版：実業之日本社

日本漢方養生学協会主催の「薬膳・漢方検定」の公式テキスト。現代の薬膳・漢方から、漢方・薬膳の基本、身近な食材、薬膳・漢方と暮らしまで、漢方の理論と薬膳の基礎をわかりやすく解説する。検定の模擬問題も掲載。（大宇陀図書館所蔵）



みんなたいせつ
 ～世界人権宣言の絵本～
 構成・訳：東 菜奈
 写真：渋谷敦志
 出版：岩崎書店

第二次世界大戦への深い反省から生まれた「世界人権宣言」には、すべての人がしあわせに、自分らしく生きるための権利が書かれている。条文を簡単な日本語に直した「意訳文」を、世界の子どもの写真とともに掲載した絵本。（大宇陀図書館所蔵）

図書館からの まめ知識

Vol.60

さあ 春はすぐそこに！入学・進級・就職など、新たなスタートを切られる方もたくさんいらっしゃると思います。でもその前に、振り返り…。図書館を通じて、たくさんの本に出会っただけでしたか？面白かった本、感銘を受けた本、難しいと感じた本、また読みたい本……。

中央図書館所蔵の瀬尾まいこさんの『図書館の神様』という本の中に、「のび太はタイムマシンに乗って時代を超えて、どこでもドアで世界を回る。僕は本を開いてそれをする。」という文章が出てきます。本を読めば、家に居ながら違う時代や、違う国に行く事ができます。本は、違う自分になることもできる魔法の道具です。

図書館は、魔法の道具がいっぱい詰まったドラえもんポケット！！そんなポケットに、あなただけの特別な道具を探しにお出かけください。

おはなし会やその他のお知らせは P27

中国の学生と国際交流

～菟田野中学校～

1月24日

修学旅行で日本を訪れている中国の中学・高校生 38 人が菟田野中学校の生徒と、授業や給食、清掃などを通して交流を深めました。

歓迎セレモニーの後、各学年に別れ、授業で交流しました。1年生の美術では漢字と絵を組み合わせた「絵文字」をカードにデザインし、そのカードを使ってゲームを行いました。国語では中国語と日本語の違いを学びました。2年生の英語では宇陀市の紹介を行いました。3年生の体育では、日本と中国の混合チームを作り、バスケットボールのトーナメント戦を行いました。菟田野中学校の生徒たちは最初緊張していましたが、英語と身振り手振りで交流していました。

中国の生徒にとって、給食と清掃は初めての体験であり、習慣の違いもお互いに学び合いました。生徒たちにとって貴重な体験ができた1日でした。



▲国語の授業



▲メッセージカードをプレゼント

～榛原西小学校～

1月25日

同じく修学旅行で来訪中の中国の中学生 23 人が、榛原西小学校の6年生と交流を行いました。

交流会までに、子どもたちが話し合い、プレゼントの折り紙などの準備を行いました。司会も中国語を使おうと練習に励みました。

当日は、けん玉、コマ回し、羽根つき、ハンカチ落としなど日本の遊びを身振り手振りで説明し、楽しく交流しました。最後に子どもたちが作った折り紙を手渡し、お礼に中国の歌や踊りを見せてもらいました。

言葉が通じなくても、身振り手振りで思いが伝わったときは何とも言えず嬉しくて、子どもたちの自信や成長にも繋がったのではないのでしょうか。外国の方とコミュニケーションをとることのすばらしさを感じるよい機会になりました。

